

9月2日は男子ソフトテニス部の県新人大会神戸地区予選を見に行ってきました。初心者も多いということで9ペアが参加。



苦戦を強いられていましたが、1年生ペアが1回戦を勝ち上がり、いいところを見せてくれました。3日には女子の個人戦がありました。団体戦は9日、10日で行われ、残念ながら県大会出場はならなかったようです。今回の経験を生かし、次に向けて頑張ってください。

卓球部も県新人大会神戸地区予選に臨み、団体出場、ダブルス1ペア、シングルス1組の県大会出場を決めたようです。11月に行われる県大会に向けて頑張ってください。

9月8日には兵庫県普通科高等学校長会が行われ、文科省の情勢報告と一般財団法人 Glocal Academy 理事長の岡本尚也氏による「これからの高等学校のあり方と管理職の役割について」という講演、そして豊岡高校、親和女子中学校高等学校の取組についての研究発表がありました。



文科省の情勢報告では、「高校教育のあり方として共通性と多様性からの検討が進められている」ことから不登校生徒への対応、通信教育の現状、通級指導や日本語指導に向けた体制指導など生徒一人一人の状況を鑑みた検討が進められているという報告でした。さらには部活動の地域移行に関しては中学校が先行して進められているが、教員の働き方改革と相まって大会のあり方や大会運営など多くの検討事項があることが報告されていました。働き方改革も基本的には小学校と中学校をイメージされており、高校として要望を出していることも報告されました。講演では、現在の若者の悩みが将来のこと、仕事・就職のことといった進路実現、キャリア教育にかかることにあることから「自分自身の軸を作る、軸がすでにある」ことが大事になってくるという話から始まりました。また社会において必要な力とは「自分自身を知る力」「主体的に行動する力」「正しい情報を収集し判断する力」「協働する力」「発信する力」といわれており、企業や社会が期待するところも「主体性」「課題設定と解決能力」「文系理系を超えた知識教養」となっているそうです。このことから探究学習を大事にしながら前例踏襲からの脱却を図って行かねばならないと結ばれました。2校の研究発表では、公立高校としての悩みと私学としての悩みそしてそれぞれの強みを生かした学校運営について話を聞くことができました。私たちも各学校の取組を知り、さらに国や県がどのような方向に向かっているかを知り、舞子高校としてのあり方を改めて考えていかねばならないと思わせてくれました。



9月11日から15日まで多聞東地域で挨拶運動が行われ、本校も参加しました。多聞東中学校と神戸国際大附属高等学校は多聞東小学校前の交差点で、本校生は本校校門前で7:50から立って通学途中の小中高生、通勤の方々などに大きな声で挨拶をしました。多聞東青少年協議会主催で行われ、各校が挨拶を交わすことで地域の中で活動させていただいていることを実感できる場でもあります。多聞東小学校前の交差点では20年前くらいから歩車分離の信号になったということで、以前はそうではなかった

という話を伺いました。その頃であれば生徒数も今よりかなり多く、車もバスも大変だったろうと思います。通学の時間が同じだと混雑もひどいということから始業時間を変え、本校は今の時間に設定されたことも聞きました。地域の中で活動させていただくためには、地域の皆様に学校の教育活動を理解していただくかねばなりませんし、そのためには生徒の皆さんの行動が重要になってきます。地域にもしっかりと受け入れられるように周りを意識することも忘れないようにしてください。

2学期が始まってからテレビ新聞等でお騒がせしている食堂営業の件ですが、9月8日にお知らせしたとおり、今のところは営業がされています。会社、県教委とも連絡を密に取りながら生徒のことを考え、できる限り空白の期間(食堂営業のない期間)を短くできるよう努めて参りますので、ご理解のほどお願いいたします。事態の変化等につきましてその都度ご連絡させていただきます。

9月中旬になり感染症も若干増加傾向にあるようです。対策を取り体調管理に努めてください。